

日文佛學期刊總目索引（四）

新編世界佛學名著譯叢

新編世界佛學名著譯叢

第二十冊

日文佛學期刊總目索引（四）



中國書店

新編世界佛學名著譯叢
PDG

本册說明

本書原名爲「佛教學關係雜誌文獻總覽」。一九八七年由日本東京的「國書刊行會」所出版。內容收集日本明治初年到昭和五十六年（一九八一）共計一百多年間的佛學期刊的內容總目。收錄的期刊共有二八八種。由於原書書名不甚適合中文習慣，因此乃由「譯叢」編者改爲今名。

顯然的，這二八八種期刊的內容多少可以反映近百年來日本佛學研究的大致趨勢以及研究成果。因此，將它們的各期目錄綜合於一處發表出來，其學術價值，自是毋庸置疑。同理，「譯叢」將這部總目推介紹國內的讀者，其意義也是清楚可見的：主要的意義是，可以使日本近百年來佛學研究成果的縮影，呈現在國人的眼前。

除此之外，對從事佛教研究的讀者而言，我們還要向他們建議幾種使用本書的方法：

(一)初入研究之門的朋友，最常遇到的困擾是不知道要研究什麼，亦即想撰寫論文却找不到方向。如果是這種情形，不妨稍加翻閱本書，讀一讀日本學者的論文題目，相信會得到若干啓發。

(二)已經確定研究方向的人，也可以從本書得到制定題目的啓示。已經訂好題目的人，也可以查閱本書，看看所訂題目是否已有日本學者寫過。如果是，不妨想辦法取得該論文

的全文以資參考。

(三)要從事佛教研究，除了功力、方法、輔助學科等條件必須具備之外，對於國際間的佛教研究資訊也不可忽略。我們的佛學研究環境不佳，大學沒有佛教科系，佛教界迄今還未能與辦大學，因此，對國際上的佛學研究資訊，我們一向陌生。針對這項缺陷，本書稍（當然不是全部）可以彌補。

本書內容與「譯叢」第⑮冊「當代日本佛學論叢總錄」一書，雖然都是有關日本佛學研究的論文目錄，但是內容與性質都並不相同。兩部書可以互補，並不衝突。

原書為十六開版面，每頁分三欄。由於「譯叢」版面較小，僅廿五開，為使內文不致過小，因此改為每頁二欄。全書分裝四冊，「著者索引」收在第四冊（「譯叢」編號⑳）卷末。全書的編排以日語字母順序為準，讀者可依音順查索到所需的期刊。

新編世界佛學名著譯叢

日文佛學期刊總目索引（四）

本冊收録雜誌一覽

マユール	一	立正大學論叢	一三七
摩訶衍→仏教大學研究紀要		立正文化	一三九
密教	三	竜谷學報→竜谷大學論集	
密教學	九	竜谷教學	一四〇
密教學研究	一三	竜谷史壇	一四五
密教學會報	一八	竜谷大學紀要	一五六
密教研究	二四	竜谷大學史學會會報→竜谷史壇	
密教講演	四二	竜谷大學大学院紀要	一五六
密教文化	四四	竜谷大學仏教文化研究所紀要	一五七
密教論叢	六六	竜谷大學論集	一六八
密宗學報	七〇	竜谷大學論叢→竜谷大學論集	
無尽燈	一〇九	歷史學派	一五三
名著通信	一一一	六條學報→竜谷大學論集	
聞思	一一七	鹿溪	一五五
聞思→大谷大學真宗學會會報	一一七	Dhammadipa	一五七
ヤジュニヤ→ヴァーダ		MAHĀ-MĀTRĪ	一五八
夢殿	一一一		
立正史學	一二九		
立正大學史學會會報→立正史學			

日文字母音順目次

マ	一
シ	三
ム	一〇九
メ	一一一
モ	一一七
ユ	一二一
リ	一二九
レ	一五三
ロ	一五五
D・M	一五七
著者名索引	一

【マ】

マユーラ

大谷大学聖典語学会（京都市）

昭和八年（第一号）——昭和一〇年（第三号）

第一号（昭和八年三月）

阿弥陀経梵文

般若心経梵文

聖典語学概観

西藏伝世親造 三自性決釈論

シルボン・レギ教授「パーミヤン及びギルギト

より将来の梵文写本に関する覚書」の概要

Miinda-Panja 論議

第二号（昭和八年二月）

聖典語学の研究方針

西夏語訳大方広仏華嚴経入不可思議解脱境界普

賢行願品 Nicolas Neský・石浜純太郎・広瀬智

梵文邦訳普賢行願讚 泉 芳環

西藏所伝ブハビヤ造 異部宗精釈 寺本 婉雅訳

西藏所伝調伏天造 異部説楽 寺本 婉雅訳

悉曇の摩多体文の意識に就きて（摩多はメートの義にあらざるか） 大島 仲太郎

梵文無量寿経の「秋雲」に就て 泉 芳環

Miinda-Panja 論議 聖典語学会同人

近代に於ける仏教研究 野上 俊静

第三号（昭和一〇年四月）

聖典語学の応用方面 泉 芳環

西藏の西方浄土曼陀羅に就て 寺本 婉雅

和訳 十地経 龜山 章真

梵文邦訳 寂天造入菩提行（一） 龜山 章真

藏文五種論和訳 清井 義雄

阿弥陀経文句正統疑義 大島 仲太郎

Parepa の意義 泉 芳環



密 教 (みっきょう)

豊山大学密教研究会 (東京)

明治四四年 (第一卷第一号) —— 大正四年

(第五卷第二号)

第一卷第一号 (明治四四年二月)

697 下 - 698 上

日本仏教界に於ける密教の位置
 教理史より見たる六大縁起論
 梵文教訓篇
 善无畏三蔵の開教
 事相に於ける小野広沢の宗別
 教論哲学研究資料
 台密の相承に就て
 事教の研究に就て
 弁才天
 顯密二教の交渉關係と其の發達体系

村上 專精
 加藤 精神
 萩原 雲來訳
 堀 謙徳
 権田 雷斧
 武田 豊四郎
 福田 亮穎
 富田 敦純
 大村 西崖
 二楞 学人

大日と釈迦

密教研究の現勢

平子輝嶺氏富田古堂氏の論争

英人の密教

悉曇部類書目

理趣経略詮

第一卷第二号 (明治四四年五月)

弁才天

顯密二教の交渉關係と其發達体系

曼荼羅の話

金剛手菩薩

慈雲尊者の「梵学津梁」

教論哲学研究資料

禪と事理

密教研究の現場 (其二)

武田豊四郎君の不動明王起原説に就て

景教流行中国碑に就て

理趣経略詮

大日如来

第一卷第三号 (明治四四年一〇月)

前田 慧靈

神林 隆浄

小林 雨峰

小林 雨峰

金田 露雨忍

記 者

権田 雷斧 述

大村 西崖

二楞 学人

富田 敦純

神林 隆浄

小林 雨峰

武田 豊四郎

大内 青巒

小林 雨峰

神林 隆浄

祝 慶淳

権田 雷斧

前田 慧靈





日 文 佛 學 期 刊 總 目 索 引 (四)

698 上 - 698 中

秘藏記の著者に就て

西蔵原文釈迦伝

金剛智三蔵の開教

伝教大師には円密調和の思想なし

金剛手菩薩(承前)

活版僧無端堂如環和尚

仏滅年代考

奈良朝時代に於ける密教写経に就て

慈雲尊者の末裔

阿字観秘訣集に就て

吾人研究者の態度並に各雑誌に表はれたる諸問

題

理趣経略詮(其三)

第二巻第一号(明治四五年四月)

両部耶蘇論を唱ふる動機

伝教大師密教法流に就て

地蔵菩薩信仰の概説

西蔵原文釈迦伝(承前)

底 羅 迦

大覚国師長天僧統

摩訶陀羅尼の研究

加藤精神

寺本婉雅

堀謙徳

池田澄達

神林隆浄

小林正盛

加藤精神

田中海応

小林正盛

雷密雲

神林隆浄

権田雷斧

積慶淳

権田雷斧

権田雷斧

吉田修夫

寺本婉雅

大村西崖

常盤大定

萩原雲来

「秘密辞林」の読む及び批評

「密教」第三号の批評

両部耶蘇を唱ふる動機を評す

仏舍利に就て

豊山蔵版版本目錄

雑誌界に現はれたる密教研究

理趣経略詮(其四)

第二巻第二号(明治四五年七月)

金胎両部大経に就て

新阿字観

大日如来の弁

般若心経秘鍵につきて

西蔵原文釈迦伝(完結)

不動明王

馬鳴の密教的西蔵原書

雑誌界に顕はれたる密教思潮

豊山大学図書館に就て

理趣経略詮(其五)

第二巻第三号(大正元年一〇月)

光明真言句義字義釈

権田雷斧

渡辺海旭

権田雷斧

馬場海寿

小林雨峰

権田雷斧

権田雷斧

権田雷斧

小林正盛

加藤精神

鈴木宗突

寺本婉雅

武田豊四郎

寺本婉雅

編輯子

権田雷斧

権田雷斧

権田雷斧

明曠疏と高祖の秘鍵	積	慶	淳
不空三蔵の開教	堀	謙	徳
不動明王(続き)	武	田	豊
教主義(未完)	小	野	塚
金剛手菩薩(元)	神	林	隆
遺明上人作千仏多宝塔と長谷寺の開創	小	野	玄
西蔵文竜智菩薩書十二種	寺	本	婉
平安朝以前の祈祷	田	中	海
密教思潮梗概録	竹	園	生
理趣経略詮(其六)	權	田	雷
第二巻第四号(大正元年二月)	權	田	雷
光明真言句義字義釈(元)	大	村	西
密教の萌芽(未完)	小	野	塚
教主義(元)	武	田	豊
不動明王(未完)	宮	崎	栄
修験道の起源	神	林	隆
密教の起源并に發達(未完)	田	中	海
大日経の日本伝来考	小	林	雨
長谷寺藏書につきて	長	谷	隆
鹿野苑靈場の古今(未完)	長	谷	隆

密教思潮一瞥
理趣経略詮(其七)
竹園生
權田雷斧

第三巻第一号(大正二年四月)

新羅高麗時代に於ける仏教的遺跡	関	野	貞
密教の萌芽(其二)	大	村	西
理趣経十七段曼荼羅	富	田	牧
畏兀兒文字の尊勝陀羅尼	寺	本	婉
金剛壽命陀羅尼経につきて	小	林	正
不動明王(其四)	武	田	豊
壮美なる「ポロポドル」の殿堂	伊	藤	直
鹿野苑靈場の古今(其二)	長	谷	隆
印度ラクナウ及びサルナート博物館内密教像	増	田	慈
密教思潮片々録	編	輯	子
理趣経略詮(其八)	權	田	雷
第三巻第二号(大正二年七月)	權	田	雷
正倉院御物の話	正	木	直
痴龜物語の研究	堀	謙	徳
新羅僧道説	常	盤	大
不動明王(其五)	武	田	豊
欧米祈祷療法	大	槻	快





日文佛學期刊總目索引(四)

698 下 - 699 中

密教の發達(承前)

ニポールの密教につきて

長谷寺寶重遺書問題

豊山派古刹縁起と古美術

再び仏舍利につきて

密教思潮界一般

理趣經略詮(其九)

第三卷第三号(大正二年一〇月)

阿字につきて

増訂密教流伝年表

密教灌頂の概説

秘密樂根本坦特羅

不動明王(其六)

智証大師と宗叡僧正の將來せし大悲胎藏曼荼羅

の研究

民間伝説より見たる聖空海

豊山長谷寺藏書重要書目并梗概(其二)

声明と俗楽

豊山派古刹縁起と古美術(其二)

印度雜話

神林 隆 淨

高橋 順次郎

雨 峰 生

竹 園 生

馬場 海 寿

編 輯 生

權 田 雷 斧

遠 藤 隆 吉

大 村 西 崖

吉 田 修 夫

寺 本 婉 雅

武 田 豊 四 郎

小 野 玄 妙

武 田 豊 四 郎

雨 峰 生

小 野 塚 北 嶺

竹 園 生

増 田 慈 良

理趣經略詮(其十)

大日経住心品私記(其二)

第三卷第四号(大正二年二月)

台密につきて

檢討漫録(其七)

不動明王

河南高貴寺の多羅樹葉に就て

仏教史上より見たる高昌国

種子及び眞言につきて

心経秘鍵の結構及其由来

慈覚大師入唐求法順路につきて

民間伝説より見たる聖空海

本朝薬師如来の信仰

密教思潮界一斑

理趣經略詮(其十一)

大日経住心品私記(其二)

第四卷第一号(大正三年四月)

禪と密

台密につきて(承前)

秘密儀軌講伝につきて

權 田 雷 斧

上 野 相 憲

權 田 雷 斧

荻 原 雲 来

武 田 豊 四 郎

岡 教 達

重 松 俊 章

伊 藤 教 順

鈴 木 宗 奕

来 馬 啄 道

武 田 豊 四 郎

田 中 海 応

編 輯 子

權 田 雷 斧

上 野 相 憲

秋 野 孝 道

權 田 雷 斧

富 田 敦 純

悉曇論	荻原雲来
不動明王論 (其八)	武田豊四郎
西藏仏教所伝梵文陀羅尼	岡教還
智証大師と宗叡僧止の請来せし大悲胎藏曼荼羅	小野玄妙
(承前)	
蘇悉地経につきて	田中海心
那爛陀寺の古蹟	常盤大定
燉煌発掘の金剛経につきて	小林正盛
日本に於ける密教伽藍の形式	宮崎栄雅
諸雜誌に現はれたる密教思潮	編樹子
理趣経略詮 (其十二)	權田雷斧
大日経住心品私記 (其三)	上野相憲

第四卷第二号 (大正三年七月)

台密の教祖につきて (其三)	權田雷斧
惜心有地論	釈慶淳
摩訶波羅多詩書に現はるる帝釈天	吉田修夫
不動明王論 (其の九)	武田豊四郎
南都に於ける密教	大屋徳城
印度古代の彫刻に見ゆる魔王鳩仏の説話	小野玄妙
印度仏教と高翔羅	長谷部隆諦
豊山長谷寺蔵書重要書目並に梗概	雨峰生

金剛杵につきて	馬場海寿
伝大士金剛經序と其頌文につきて	中村不折
密教思潮界現勢	編輯子
理趣経略詮 (其完)	權田雷斧

第四卷第三号 (大正三年一月)

台密の灌頂につきて	權田雷斧
道僧の由来	大村西崖
現觀莊嚴論頌	荻原雲来
不動明王 (其十)	武田豊四郎
円点仰月章	長谷部隆諦
大元帥明王	小野玄妙
仏教史上の高昌国 (下)	重松俊章
法華経の陀羅尼神咒	岡中教還
佛像物語	田中海心
梵語叢話	伊藤教順
密教思潮一瞥	權田雷斧
理趣経略詮 (補闕)	上野相憲
大日経住心品私記 (其四)	

第四卷第四号 (大正四年三月)

第十六生華菩薩に就て	權田雷斧
惜心有地余論	宮崎慶淳





日本文佛學期刊總目索引(四)

699 下 - 700 上

西藏文秘密集根本担持釋

不動明王(其十一)

梵語より見たる連声法の根拠

大元帥明王(完)

鎌倉時代の禪宗諸家と密教

修学土代

大峰山に於ける役行者の宗教

悉曇切経の回顧

密教思潮一覽

菩提心論三摩地段修禪要略

大日経住心品私記(其五)

第五卷第一号(大正四年六月)

都率僧都曼荼羅觀

養浄三藏の入竺と仏教伝播

不動明王論(其十二)

鎌倉時代の禪宗諸家と密教(其二)

日本天台に於ける悉曇相承

漫恒彌につきて

慧澄和上の密教観

有相と無相

密教学侶に告ぐ

密教思潮一覽

寺本婉雅

武田豊四郎

長谷部隆諦

小野玄妙

大屋徳城

竹園生

上田円照

榴丘学人

權田雷谷

上野相憲

島地大等

堀謙徳

武田豊四郎

大屋徳城

岡教達

増田慈良

人勝生

我優生

北嶺生

菩提心論三摩地段修禪要略(其二)

大日経住心品私記(其六)

第五卷第二号(大正四年一〇月)

△御即位記念号▽

国家の奉為に都法大曼荼羅を建立する願文

自己を充実せしめよ

不生の心地に遊べ

三密相應の人を求む

宗教の尊嚴

密教の独り本邦に來り旺盛を極めし所以

皇室と真言宗

御即位大事淵源

皇室と密教との關係

法義上に於ける皇室と東寺

御即位と真言宗

御即位と智積院

御即位灌頂の由来と其内容

真言宗前の東寺

御大典と三世無障碍智成

即俗而眞の宏謨

權田雷斧

上野相憲

丸山貫長

權田雷斧

泉智等

秋野孝道

龜谷聖翳

村上尊精

石堂慧猛

積慶淳

岡崎密乘

松永昇道

斎藤隆現

林田光禪

田中海応

口入田覚了

梅尾祥雲

高岡陸心

暹羅の戴冠式
密教とは何ぞや

瓜哇に於て発見せられたる密教要文

印度美術と秘密仏教

大元帥明王

西藏天降の秘密經典

心大虚空藏菩薩聖像略記

聖吉祥持世陀羅尼の梵本研究

日本に於ける金光明經及最勝王經

大日經梵本の起源につき

不動明王（其十三）

慈尊院栄海
碑 像

弘法大師と言葉の意義

五十音と悉曇

密教研究につきて

来馬琢道
金山法竜

荻原雲来

吉田修夫

森田竜僊

寺本婉雅

小林正盛

岡 教遠

大屋徳城

重松俊章

武田豊四郎

綿尾順敬

大村西崖

長谷部隆諦

無中辺大澄

神林隆淨

種智院大学密教学会（京都市南区壬生通八条
下る東寺町）

昭和四〇年（第一号）——発行中

第一号（昭和四〇年七月）

密教道場の荘嚴とその標幟（一）

宮中真言院の成立について

チャイティヤと多宝塔

私本・修験道記（一）

西藏訳大日経并に註釈（抄訳）

根本懺と当為の道徳

ジャイナ教知識論の一考察

第二号（昭和四一年三月）

△児玉教授追悼号▽

私本・修験道記（二）

覚超僧都と皇慶阿闍梨

東寺講堂の仏像

弘法大師法考（一）

仏母大孔雀明王經について（一）

私観「弘法大師の和歌」

児玉雪玄

平岡定海

村主恵快

服部如実

月輪賢隆

横山真陽

宇野 悖

服部如実

横山真陽

宇野 悖

服部如実

横山真陽

宇野 悖

服部如実

横山真陽

宇野 悖

佐和隆研

高見寛恭

高井隆秀

高藤円応

密 教 学（みっきょうがく）



日文佛學期刊總目索引（四）



日文佛學期刊總目索引(四)

700 下—701 上

中国古代における教育と師弟道

夏目祐伸

第三号(昭和四二年二月)

仁和寺洛暹僧都の教学——高野山教学展開の一として——

大山公淳

密典漢訳年代表

高見寛恭

弘法大師法考(四)

高見寛恭

天台業——特に蓮那業について——

仲尾俊博

大日経疏玄談(一)

無逸

密教関係雜誌論文目録(三)

夏目祐伸

第六号(昭和四四年一月)

夏目祐伸

第八号(昭和四五年一〇月)

夏目祐伸

第九号(昭和四五年一〇月)

夏目祐伸

第十号(昭和四五年一〇月)

夏目祐伸

第十一号(昭和四五年一〇月)

夏目祐伸

第十二号(昭和四五年一〇月)

夏目祐伸

第十三号(昭和四五年一〇月)

夏目祐伸

第十四号(昭和四五年一〇月)

夏目祐伸

第十五号(昭和四五年一〇月)

夏目祐伸

第十六号(昭和四五年一〇月)

夏目祐伸

第十七号(昭和四五年一〇月)

夏目祐伸

第十八号(昭和四五年一〇月)

夏目祐伸

第十九号(昭和四五年一〇月)

夏目祐伸

第二十号(昭和四五年一〇月)

夏目祐伸

第五号(昭和四三年十二月)

後の学風——

夏目祐伸